

E I A S T E O 2020. August

Forecast Highlights

・2019年の新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する緩和と再開の取り組みが進化し続けているため、8月の短期エネルギー見通し（STEO）は依然として不確実性のレベルの高まりにさらされています。COVID-19 パンデミックに関連する経済活動の減少により、2020年にエネルギー需給パターンに変化が生じました。液体燃料、天然ガス、電力、石炭、再生可能エネルギーを含むすべてのエネルギー源について、米国エネルギー情報局（EIA）の見通し全体で不確実性が続いています。STEOは、IHS Markitによる米国のマクロ経済予測に基づいています。米国の国内総生産は、2020年前半に前年同期から5.2%減少し、2020年の第3四半期から2021年まで上昇すると想定しています。

・7月のブレント原油スポット価格の平均価格は、1バレルあたり平均43ドルで、6月の平均よりも3ドル高く、4月の月間平均の低価格から25ドル上昇しました。EIAは、ブレントの月間スポット価格が2020年後半に平均43ドルとなり、2021年には平均50ドルになると予測しています。

・全米レギュラーガソリン小売価格は、7月の1ガロンあたり平均\$2.18で、6月の平均よりも10¢/gal上昇しましたが、前年同期より56¢/gal低くなっています。EIAは、夏の残りの期間を通じてガソリン価格が徐々に下がって9月に平均\$2.04/galに達し、その後第4四半期に平均\$1.99/galになると予測しています。米国の通常のガソリン小売価格は、2020年の平均が2.12/galであるのに対し、2021年の平均は\$2.23/galになると予測しています。

・EIAは、在庫水準が高く、原油生産能力の余剰により今後数か月の価格上昇圧力が制限されると予想していますが、2021年に在庫が減少すると、価格上昇圧力が増加します。EIAは、2020年前半に世界の液体燃料在庫が640万b/dの割合で増加し、2020年後半に420万b/dの割合で減少し、2021年には80万b/d減少すると予測しています。

・EIAは、7月の世界の石油および液体燃料の需要は平均して93.4百万b/dであると推定しています。需要は、2019年7月から910万b/d減少しましたが、2020年第2四半期の平均8500万b/dから増加しました。これは、前年のレベルから1,580万b/d減少しました。EIAは、2020年全体の石油および液体燃料の消費量が、2020年全体で平均9,310万b/dになると予測しており、2019年から810万b/d減少した後、2021年に700万b/d増加します。COVID-19のパンデミックに関連する経済活動の減退が2020年のエネルギー需給パターンに変化をもたらしました。

・EIAは、2020年第2四半期の世界の液体燃料の生産量は平均して9,180万b/dであり、前年比で860万b/d減少したと推定しています。この減少は、石油輸出国機構（OPEC）とパートナー国（OPEC+）による自主的な生産削減と、原油安による米国の掘削活動と生産減少を反映しています。予測では、2020年の第3四半期に世界の石油供給量は引き続き9,040万b/dに減少し、その後2021年には年間平均9,940万b/dに増加します。

・ EIA は、2020 年の第 2 四半期の米国の液体燃料消費量が平均で 162 万 b / d で、2019 年同期から 410 万 b / d (20%) 減少したと推定しています。この減少は、旅行制限と COVID-19 に関連する経済活動の減少を反映しています。 EIA は、米国の石油消費は一般に 2021 年末まで増加すると予測しています。EIA は、米国の液体燃料消費量が平均で 2021 年に 2,000 万 b / d に増加する前に、2020 年第 3 四半期には 1,890 万 b / d (前年比 180 万 b / d 減少) になると予測しています。2021 年の予測レベルは、2020 年消費よりも 160 万 b / d 多いが、2019 年の平均よりも 40 万 b / d 少ない。

・ EIA は、2020 年の米国の原油生産予測を以前の STEO から 37 万 b / d 引き下げました。EIA は、原油生産を 2019 年の 1,220 万 b / d から減少し、2020 年に平均 1,130 万 b / d、2021 年に 1,110 万 b / d と予測しています。最近発表された EIA データは、5 月の米国の月平均石油生産が 7 月の STEO 予測を 120 万 b / d 下回り、以前に見積もられたよりも大幅な生産削減を示しています。また、EIA の 8 月の STEO は、ダコタアクセスパイプラインが引き続き稼働することを前提としています。米国地方裁判所は、7 月 6 日に 8 月上旬に始まるダコタアクセスパイプラインの一時的な閉鎖を命じました。米国の控訴裁判所は下級裁判所の判決を覆し、さらなる訴訟手続きが継続している間、パイプラインを稼働させ続けることができます。